

# きらら通信

こちら校長室



令和2年度

令和2年5月28日  
京都市立修学院小学校  
校長 村山 雅彦  
TEL : 075-781-4439

## 学校再開にあたって

4月8日に始業式と入学式を行い、かわいらしい新1年生を迎えるとともに、本校の子どもたちの元気な姿を見ることができました。しかし、翌々日からは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、昨年度末に行った臨時休業が続くことになり、特例預かりを利用している子どもの姿を見るとほっと安心する一方で、ほとんどの教室や運動場には本来あるはずの子どもたちの姿がなく、日に日に寂しさが募ってきてています。

このような状況になって実感することは、「命」と「出会い」の尊さです。今回の臨時休業は、子どもの安全・安心を最優先したものであり、大切な授業を中止してまでも新型コロナウイルスから子どもを守るために取られた措置でした。子どもたちの命は何ものにも代え難いことを改めて思います。また、臨時休業中には、「友達と会えないのは辛い。」「先生や友達に会いたい。」という子どもたちの声を耳にしました。人と出会い、共に過ごすことによって得られるものの大きさを改めて痛感します。学校を再開する時は、過去に例のない年度末と年度始めに「命」と「出会い」の尊さを実感した子どもたちが登校し、大きな喜びに満ちあふれたスタートになるはずです。令和二年度が、子どもたちにとっても本校にとっても大きな飛躍の年になることを期待せずにいられません。

学校再開の初日には、このような期待感を抱きつつ、学校教育目標であります、

「正しく 楽しく たくましく」の実現を目指して、子どもたちに頑張ってほしいことを三つ話そうと考えています。

一つ目は、自分も人も大切にすることです。そのために挨拶をしっかりとします。朝の「おはようございます」、食事の時の「いただきます」と「ごちそうさま」、帰りの時の「さようなら」、相手から嬉しいことをしてもらった時の「ありがとうございます」など、どの挨拶も人に自分の思いを伝える大事な言葉です。挨拶は、人と人の心を繋ぎます。

二つ目は、友達とともに作り上げることです。一緒に学習する中で気づかなかつたことに気づき、知らなかつたことを知り、わかつたことができるようになり、できるようになったことを有効に使えるようになる楽しさをつかんでほしいと思います。

三つ目は、健康を常に意識し、行動できるようにすることです。多くの方々の努力により学校が再開できます。我々はお互いのことを思いやりながら引き続き感染予防に気を付けなければなりません。

これらのことを通して、子ども一人一人が多くの方々に学び、自分を成長させていくことができるよう指導してまいりたいと考えております。

本年度も、引き続き保護者の皆様や地域の方々と相談し、ご協力をいただき、修学院小学校の子どもたちの健全育成に努めてまいります。何卒よろしくお願ひいたします。